

「まちなかアカデミー曳舟」で商店街の魅力を伝える

商店主が講師を務める

「まちなかアカデミー曳舟」を通して、
新住民が商店街を訪れる
きっかけづくりを推進

駅前再開発に伴って
加盟店数も年々増加

イーストコア曳舟商店会は、東武曳舟駅と京成曳舟駅に挟まれたエリアに建ち並ぶ店舗や商業施設で組織されている。設立は平成20年10月23日。曳舟駅前地区再開発事業に伴い、宝通沿いにあった、たから通り商店会が解散。その一部と、2棟の高層マンションと大型商業施設で構成されるニュータウン「イーストコア曳舟」によって再構築された、比較的新しい商店会である。

加盟店には物販、飲食店を中心に病院や保険業、レジャー施設など幅広い

業種が顔を揃える。さらには、平成22年にオープンしたイトーヨーカドーの他、マクドナルドやロイヤルホストも加盟。一般的には個店の〃商売敵〃になり得る大型スーパーやチェーン店とも、協力体制がしつかり築かれている点も特徴である。加盟店舗数も設立当初の53店舗から、現在は83店舗と年々増加している。店舗の入れ替わりは度々あるものの、商店会内に空き店舗は一軒もない。

エリア内の再開発事業は、来年度以降も継続して行われていく。東武曳舟駅前には、駅直結の病院が来年度竣工。京成曳舟駅の高架工事は平成30年完成予定で、この高架下にはテナントが入ることになっている。ここ数年、続々

と進出しているタワーマンションも、また一棟建設される。こうした背景から、今後も増加していくことが見込まれる新住民や新店舗を、商店街の活性化に積極的に引き込んでいくことが当面の課題である。

新住民が商店街に足を運ぶ
きっかけを作りたい

商店会設立後、当時青年部の部長を務めていた内田淳仁さん（現副会長）は、初めてのイベントで「フイリングカップル5対5」を企画。新住民に出会いと交流の場を〃というコンセプトであったが、これがかなりの好評を博した。しかし、内田さんら役員陣の胸の内には、「果たしてこれで良いのか……」という沸々とした思いがあった。こうした一回で完結する単発のイベントを打ち出していくって、それが商店街への集客につながるのか。また、高層マンションで暮らすような人たちに向けては、もっとアカデミック

なアプローチが合っているのではないか。新住民の人たちが、今まで足を運んだことのない店舗に、少しでも行きやすくなるようなきっかけを作りたい。そんな風に考えていた。

商店街活性化策として
「まちゼミ」の開催を決意

イーストコア曳舟商店会では数年前



通りの様子

オープニングイベントを 定期市と同日に開催

商店会では、6年前から毎年5月と11月にイーストコア曳舟駅前広場などを会場に「お宝市」を開催している。そこで「まちアカ曳舟」のオープニングイベントは、平成27年11月8日の「お宝市」と併催で行うことにした。講座

から、進め！若手商人育成事業のセミナーに毎年若手役員を派遣。小林会長自身も1年参加しており、ここ3年は内田さんが続けて参加している。そこで講師に相談をしてみたところ、「まちゼミ」の開催を勧められた。各店の専門性を生かしてお客さんとコミュニケーションを取るができる講座形式のイベントは、内田さんも以前からやりたいと思っていたスタイルだ。商店会に持ち帰ると、他の役員たちからも賛同を得ることができた。早速、商店街パワーアップ作戦を活用し、2名の専門家と「まちゼミ」の考案者であり岡崎まちゼミの会代表の松井洋一郎氏を招いて勉強会が行われた。その後、会員同士で何度も会合が開かれたが、「まちゼミ」を名乗って開催するには、いくつものルールをクリアしなければならぬ。しかし現状ではハードルが高かったため、「まちゼミ」を原型にできる範囲でやってみようという結論に至った。イベント名は、「まちなかアカデミー曳舟」に決まった。

第1回の反省をもとに 運営、講座内容の充実を

の開催期間は11月3日～29日。開講日時は、この間に各自自由に設定できるようにした。印刷・ハンコ店の「年賀状用木版彫刻教室」、クリーニング店の「家でもできる簡単シミヌキ」、税理士事務所の「税金なんでも相談会」など17講座が開かれた。

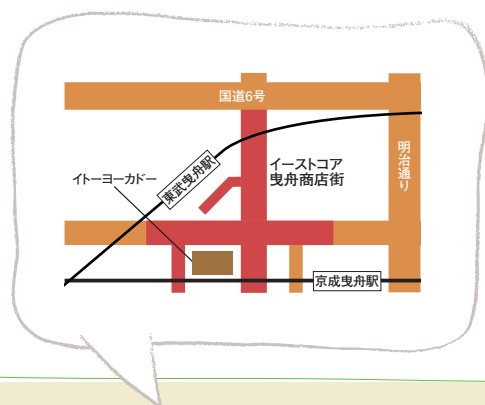
手探り状態で開催にこぎ着けた初めての試みは、残念ながら満足のいく結果には至らなかった。集客の面では、受講者が0人の講座もあった。その要



お宝市

因として、告知が十分だったことを痛感している。頼みの綱だった「お宝市」当日も、悪天候により客足が伸びないという不運も重なった。今後は折り込みチラシの枚数や配布方法を再検討すると共に、ホームページも有効に活用していきたい考えた。

一番の課題は、講座数の増加と内容の見直しである。お客様のニーズに合わせた、よりキャッチーなテーマが必要だ。とはいえ、一度開催したことで「まちアカ」のひな形を作り上げることができたのは何よりの収穫だ。内田さんたちは、来年以降も継続してやっていけるという手応えも十分に感じている。



- 商店街名 イーストコア曳舟商店会
- 会員数 83
- 会長 小林 正大
- 連絡先 ... 墨田区東向島2-31-20(はんの店 こばやし)
- 電話 03-3614-4869
- URL <http://east-core.com/>
- 活用施策 商店街パワーアップ作戦



副会長 内田 淳仁

会長に勧められたことをきっかけに参加した進め！若手商人育成事業のセミナーは、私にとって新鮮な体験ばかりでした。他の商店街のイベントの成功例などは大変参考になりましたし、行政から助成金が出ることも初めて知りました。塾で学んだことは会長や会員にしっかり伝え、先の活動に生かすようにしています。今後は地域力を生かしながら、挨拶が非常に元氣だとか、子どもたちも守れるといったような、何か特色のある商店会を目指していきたいです。